

海外のトップスクールの Ph. D. コースに入学し、学位取得を目指す学生に、スカラシップを支援する事業を財団がはじめて、今年で 5 年目になります。現在に至るまでの状況を簡単に振り返ります。

この事業は学生一人当たりの支援額が、授業料、生活費で、年間 600 万円から 700 万円を要します。当初は Ph. D. コースに入学後、3 年間は支援するという原則ではじめましたので、学生当たりの支援額は 2,000 万円前後にもなります。2009 年度この事業をはじめたときは、募集枠 2 名でスタートしました。次の年が 3 名、その次が 5 名、そして、一昨年からは毎年 10 名前後の学生を支援することにして、定常状態になっています。現在は支援期間は原則 2 年としています。事業をはじめてから、これまでの募集枠、応募者数などの統計を [表 1](#) に示します。また、この間の応募者の日本の出身大学の統計は [表 2](#) の通りです。現時点ではまだ Ph. D. を取得した学生はいませんが、ここ 1~2 年の内には、Ph. D. 取得学生が複数名出はじめる段階になっていると把握しています。

支援学生が Ph. D. を取得して、それぞれの専門とする分野で国内外で指導的な活動をしてあげることがわれわれの財団の希望ですが、それと同じくらいに大事なことは、FOS 支援学生が互いに交流を深めてくれることだと考えています。毎年 10 名前後の学生が Ph. D. を取得するようになると、10 年で 100 名の学生が Ph. D. を取得することになります。FOS 支援学生が交流を深めていけば、学生にとって将来間違いなく大きな財産となるはずですが、支援する学生数が 30 名近くなった今年からが、学年を跨いだ学生が互いに交流する環境が整ったといえます。今回の第一回 FOS 交流会はこのような背景があって開催したものです。今回を機会に年に一度の頻度で交流会を開催することを考えています。

今回の参加者一覧を [表 3](#) に示します。そこから分かりますように、学生が留学している大学は、アメリカ西海岸、アメリカ東海岸、それに、イギリスにほぼ 1/3 ずつとなっています。できるだけ多くの学生に交流会に参加して欲しいという希望から、時期は 8 月上旬、日程は週末、そして、場所は、学生トータルの移動距離、時間が最小になるようにとといったことを考慮し、ニューヨークとしました。